

平成28年度 西さん成さん達の田作り

～第10期大椎っ子田んぼ、第7期あずみっ子田んぼ 草取り編～

5月半ばに苗を植えて約1ヵ月半、子どもたちが苗の生長具合の観察と田んぼの草取りにやってきました。苗の生長はまちまちで、1本植えをした苗が10本くらいに扇状に分げつつしているものもあれば、まだ2～3本にしか分かれていないものもあり、その生長の違いなどについても観察しながら考えてもらいました。田植えのころとは生き物たちの様子も変わっていることもじっくりと観察してもらいました。

◎大椎小学校 7月4日 晴れ

★田んぼの草取りをしてわかったことは、小さな苗のまわりには大きな雑草が生えていたことと水温が低いということです。水温があたたかい所は大きく生長していました。田植えをした時に、苗を1本1本分けて植えるのは大変でしたが、大きく育った苗を見て意味がわかりました。自然観察では、キアゲハの幼虫、タイコウチの赤ちゃんやアブのさなぎなどがいました。アブのさなぎは初めて見ました。草取り作業はとても暑くて大変でしたが、楽しかったです。(Y.K)

★初めてノコガマを使って田んぼのまわりの草刈りをしました。とてもよく刈れて楽しかったです。自然観察をする田んぼに行くともとても大きなガマガエルがいてビックリしました。ほかにも裏返って水面を泳ぐマツモムシやメダカもいました。草刈りも自然観察も楽しかったです。(S.I)

★苗を植えたときは1本だったのに、きちんと生長しているものはきれいに11本に分けつつしていました。あまり生長していないものは3本くらいでした。日当たりがよく、水の温度も暖かい方がぞだつようです。すずしいとまあまあだそうです。稲のまわりにはトンボが飛んでいました。田んぼの中にはオタマジャクシやクモ、小さなカエルなどがたくさんいました。手足がよごれたのはいやだったけど、とても楽しかったです。(S.Y)

★植えた時よりも苗がとても生長していて驚きました。1本だった苗が8～10本になっていました。自然観察ではメダカやオタマジャクシ、カエル、ハシリグモ、ヤゴ、カマキリ、トンボ、ザリガニ、ドジョウなどたくさんの生き物がいました。私は生き物が大好きなので、たくさんの生き物に会えて楽しかったです。稲刈りをして早くお米が食べたいです。(C.K)

★草刈りではカマが動かなくなったりして大変でした。田んぼの中には食べられる草があったりして楽しかったです。1本植えをしたものが8～10本くらいになっていておどろきました。自然観察でも、トンボ、オタマジャクシ、カエルといろいろな生き物がたくさんいておもしろかったです。田んぼの中にいたクモがミズグモだと思っていたら、ハシリグモだということを知ってもらいました。もっとたくさんの生き物を見つけてみたいです。(H.N)

★自然観察では、水のわいてくるところを見せてもらい、谷津田の水が山からきていることがわかって、おどろいてしまいました。水はすきとおっていて、とてもきれいでした。草取りはできなかったけど、稲刈りはしっかりやりたいと思います。稲刈りが楽しみです。(N.H)

★自然観察では田んぼの温度のことや田んぼにいる生き物のことを教えてもらいました。草取りはほんの少しの時間ですこしの草しか刈れなかったけど、楽しかったです。夏休みにも田んぼに行ける日があるので、行きたいです。(K.M)

★田んぼの中の温度が場所によって違うことを初めて知りました。草刈りでは、すぐにコツをつかめたので、楽しかったです。自然観察ではザリガニの巣を見つけました。とても深くてビックリしました。カエルや小さな生き物もたくさんいて、とても楽しかったです。(A.I)

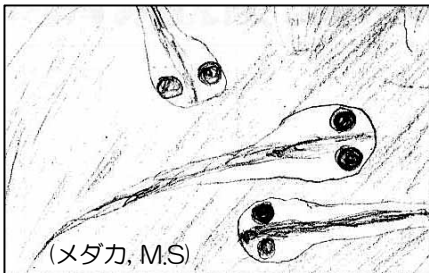
★自然観察では、ホトケドジョウやカエル、オタマジャクシなどいろいろな生き物を見つけました。手足のはえたオタマジャクシにはビックリしました。手足がしっかりはえてカエルになると聞いてすごいなあと思いました。田んぼに入ってから草取りでは両手に持ちきれないほどぬいたので、1回捨ててからまたやりました。メガネや服にどろがとんだのでいやでした。(M.N)

◎あすみが丘小学校 7月1日 晴れ

★今日は、苗の周りの草をふんでしずめる「仕事」をしました。草（ざっそう）は、苗の周りにたくさんあって、苗をおもわずふみそうになりました。苗は、植えた時、1つに2、3本ついてたけど、それよりもっとくっついて田植えをした時よりも大きくなっていました。田んぼの中には肥料は入れず、あぜ道の刈った草などをいれるそうです。苗の周りには、たくさんの草が生えていたけど、苗はしょうぶに育っていました。肥料を使わずに、生えていた草を使うだけで大きく育つのにびっくりしました。私は今日仕事をがんばったので、これからの仕事もがんばって、おいしいお米を作れるようにしたいです。(M.U)

★5月に行ったときより、苗が2倍くらいの大きさになっていました。1本で植えたのに、8本ぐらいい増えておうぎ型に広がっていました。大きくなっていったのは、苗だけでなく、生き物もでした。田んぼの中には、クロメダカや、走りぐも、カエルなどがいました。わたしがびっくりしたことは、2つあって、1つ目は、まだ、おたまじゃくしがいたことです。大きいおたまじゃくしが数ひきました。2つ目は、もうザリガニがいたことです。小さかったですが、力強さが伝わってきました。なえが大きく育っていたので、目標の30kgを達成できると思います。(M.S)

★今日は、2回目の田んぼでした。気温が高く水温は32℃。予想以上の温かさです。稲はぐんぐんと成長して30cm以上のびていました。まるで、1本、1本が背の高さ競争しているようです。でも、しっかり成長していてよかったです。しかし、ざっ草が稲の周りにたくさん生えていました。ざっ草は、まだ少ししかのびていなかったけど、その量はすごかったです。(R.H)

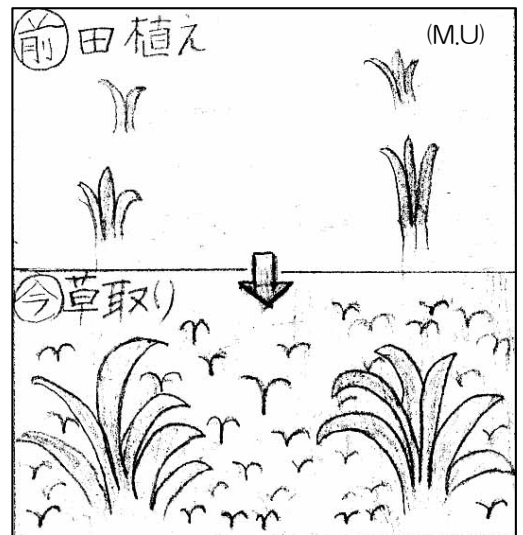


★5月に植えた苗は、約5cmくらいだったけれど、7月になったらその4~5倍まで大きくなっていった。ざっ草も5月はほぼ無かったけれど、今日はざっ草がびっしりと生えていた。あすみ田んぼの中には約5種類のざっ草が生えているらしい。田んぼの土も5月とはちがって、5月はすばすばはまっていき、くさく、とても足などがよごれたけれど、今日は下が浅く、くさくなく、足もそんなによごれなかった。水は浅いほうが温かく、深いほうは水が少し冷たかった。(Y.O)

★1本だった苗が5本ぐらいになっていました。1本植えたところはきれいなおうぎの形になっていたけど、2本植えていた所はきれいなおうぎの形になっていませんでした。水温は、育っている所は32℃位で、あまり育っていない所は、20℃位でした。10℃位の差があることにびっくりしました。田んぼには、何種類かの草が生えていました。松下さんが、草は5種類くらいの草があると言っていました。次行く時に、どれくらい成長しているのか楽しみです。(H.M)

★田んぼに入ると、土が前は足くびとひざの間でしたが、今は前より深くて、ひざから太ももの間で、深かったです。あと、以前、線をたどりながら苗を植えたので、まっすぐ植わっていました。そして一番おどろいたことは、場所によってかたさや温度がちがう所が色々あったことです。季節ごとで変わる自然な生き物をどんどん発見したいです！(S.N)

★苗は、長くてもどろいた。どろの水温を計ってみたら、だいたい30度くらいだった。苗の形はおうぎの形になっていませんでした。最初はくねくねしている形だったけどよく見たらおうぎの形だとわかりました。温度計で計ってみて、のびのびと育っているところは32度位で、あまり育っていないところは20度くらいだった。観察をしていると中に暑くなってもう嫌になるところだったけど、くじけないでがんばった。草取りをしていたら、もっと細かいことがわかるかなと思いました。今日1日楽しかったから今度も休まずに田んぼに行きたいです。(H.I)



1つ目は、まだ、おたまじゃくしがいたことです。大きいおたまじゃくしが数ひきました。2つ目は、もうザリガニがいたことです。小さかったですが、力強さが伝わってきました。なえが大きく育っていたので、目標の30kgを達成できる





里山たんけんレポート

第 198 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2016年7月3日(日) 晴れ

開始前にこども達はカブトムシ、ノコギリクワガタ、コクワガタを捕まえ、大興奮でした。トンボもたくさん発生していました。ノシメトンボ、ナツアカネ、マユタテアカネなどアカネの仲間やオオアオイとトンボは林内や林縁でまだ初々しい体色で暮らしています。田の縁の草の葉をそっと返してみたら昼間見る機会の少ないハイケボタルが2匹とまっていた。エゴノキでは頸の長いエゴツルクビオトシブミと揺籃が見られました。タマムシやクワカミキリ、大きなヒダリマキマイマイなどを手にしてこども達は大喜びでした。林内のオオバノトンボソウは花の時期ですが何故かつぼみが黒くしおれているものが多く、まともに咲いているものが少ない状況でした。又マトラノオは丈の長い草の中に埋まるように咲いていました。花立ちが少なくなっているようでした。生育場所の乾燥化が進んでいるようで気懸かりでした。

ニイニゼミが鳴き、ウグイス、オオヨシキリ、ホオジロ、ホトトギスの声を耳に、谷津を巡りました。

(参加 大人11名、小学生5名、幼児1名; 報告: 網代春男)

第 193 回 下大和田 YPP「あぜの草刈り・田の草取り」

2016年7月16日(土) くもり

6月に続いて田んぼの草取りをしました。この季節はコナギが元気いっぱい育っていて、稲株の間が見えないくらいにびっしりと生えていました。穂が出始めたコシヒカリの田んぼには入らない方がいいことから、古代米田んぼのコナギなどの草を抜きました。歩きにくい泥の中を稲の間に体をうずめて草を取り、取った草を畦に投げるのはなかなか大変な作業です。救いは暑さがそれほど厳しくなかったこと。それでも休憩時間を十分取るようにしました。今回、企業ボランティアの千建と北創工業の2社が参加し、刈払機の草刈りで大活躍してくださいました。ありがとうございました。

草取りをしているとイナゴやカマキリ、アカガエルなどたくさんの生きものが姿を見せてくれるので、ちょっとした自然観察にもなります。子どもたちは生きもの探しに熱中していました。

草取りを終えた田んぼはすっきり、きっと元気に稲が育ってくれることでしょう。

(参加 大人26名、小学生9名、幼児5名、報告 高山邦明 写真: 田中正彦)



第 131 回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

2016年7月23日(土) くもり

7月も下旬を迎えたのですがまだ梅雨が明けず、この日もちょっと肌寒いくらいの陽気でした。下大和田よりも田植えが遅かったのと環境が違うので、田んぼの草の種類や育ち方も小山と下大和田では違います。コナギはまだ勢いがなく、イグサやオモダカ、センダングサ、ミソソバなどが、田んぼによって、また田んぼの中の場所によって様々に繁茂していました。そんな田んぼの様子を観察しながら草取りをしました。

田んぼの広さからして人数的に全部は抜ききれないので、田んぼごとに一番しつこい抜く草を決めてできる範囲で作業しました。コシヒカリや黒米は穂が出始め、梅雨が明けて暑くなれば順調に生育してくれることでしょう。

(参加 大人5名、報告 高山邦明)



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月 2日 ニイニゼミが鳴く。アキノタムラソウが開花（高山）。
7月 10日 夕方、ヒグラシの声を聞く（高山）。
7月 16日 林縁でヤマユリが開花。田んぼでオオシオカラトンボが産卵（高山）。
7月 17日 谷津の上空をオニヤンマが何匹か飛翔。羽化したてはいつも上空に（高山）。
7月 23日 コシヒカリと黒米が出穂。アブラゼミが元気よく鳴く（高山）。
7月 30日 オニヤンマが水路沿いをパトロール。ミンミンゼミが鳴く（高山）。

下大和田

- 7月 2日 カフトムシ、ノコギリクワガタ出現（網代）。
7月 7日 オオムラサキ今シーズン初出現（網代）。
7月 16日 コシヒカリが出穂。畦でツユクサやセリが咲く。田んぼにコバネイナゴがたくさんいた（高山）。
7月 21日 ヤマユリ開花（網代）。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト（YPP）のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第 194 回「かかしづくり」(第 7 回米づくり講座)

第 195 回「コシヒカリの稲刈り」(第 8 回米づくり講座)

コシヒカリの稲穂が垂れ始める季節です。稲刈りまでにお米がしっかりと育ってくれることを祈って、かかしを作ります。思い思いに着飾ったかかしづくりを楽しみましょう。今年の収穫を調べるモミ数調査もします。

そして 9 月は収穫の季節のスタート。最初にコシヒカリと黒米を刈ります。

日 時： かかしづくり 2016 年 8 月 13 日（土）9 時 45 分～14 時 *小雨決行

稲刈り 2016 年 9 月 10 日（土）9 時 45 分～14 時 *小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）

集 合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に 9:45（JR 千葉駅 10 番成東あるいは中野操車場行きのかちばフラワーバスで 45 分<千葉駅発 8:25、8:40 など> 料金は 520 円）

持ち物： 弁当、飲み物（暑くなるのでたっぷり）、長靴、帽子、軍手、敷物、もしあれば、かかしに着せる古着、帽子、手袋など。

参加費： ちば環境情報センター会員および家族 100 円、一般 300 円、小学生未満無料

主 催： ちば環境情報センター 共 催： ちば・谷津田フォーラム

▼第 200 回 下大和田 9 月の谷津田観察会とごみ拾い

秋の花が咲き始め、赤とんぼも色付く頃です。トンボの調査をしながら谷津を巡ります。

日 時： 2016 年 9 月 4 日（日）9 時 45 分～12 時 ☆小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田（同上）

集 合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に 9:45（下大和田 YPP に同じ）

持ち物： 筆記用具、飲み物（暑いのでたっぷり）、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費： 100 円（小学生以上、資料代など）

主 催： ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時：2016 年 8 月 14 日（日）、8 月 19 日（金）いずれも 9 時 45 分～15 時

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上） 持ち物：飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催：ちば環境情報センター

▼小山町 YPP

8 月はお休みにします。9 月からの収穫のサポートをよろしく申し上げます。

編集後記 なかなか梅雨が明けず、稲への影響が心配でしたが、ようやく明けて真夏の暑さがやってきました。コシヒカリが穂を出し、強い日差しを受けてモミがグングン膨らんでいきます。季節は盛夏へ。オニヤンマが水路をパトロールし、林からはアブラゼミやミンミンゼミのにぎやかな声、暑さを物ともせず谷津ではたくさんの生きものが元気に暮らしています。夏休みはケータイでなく、本物の生きもの探しに田んぼに出かけてみませんか？時にチョー・レアな生きものが見つかることもありますよ。
(高山 邦明)